

各位

上場会社名 浅香工業株式会社
代表者 代表取締役社長 鳥田 長秋
(コード番号 5962)
問合せ先責任者 専務取締役管理本部本部長 藤田 敏雄
(TEL 072-229-5137)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月10日に公表しました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,200	60	80	△50	△5.01
今回修正予想(B)	7,215	65	103	△23	△2.37
増減額(B-A)	15	5	23	27	
増減率(%)	0.2	8.3	28.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	6,882	2	35	21	2.12

修正の理由

当期におけるわが国経済は、長期にわたる円高やデフレの進行をはじめ、雇用・所得環境等の不安要因が山積する中、各企業の企業努力によって景気は緩やかながらも回復傾向で推移してまいりましたが、東日本大震災によって日本経済は大きく後退し、未だ見通しすら立たない状況となっております。

このような情勢下におきまして、当社は拡販策に全力をあげ努力を重ねてまいりましたが、主要製品でもあります電動移動棚、重・中量ラック等の物流機器類につきましては、企業の設備投資の縮小と激化する価格競争、地震による納期遅延等が大きく影響し、前年同様低調のままに推移いたしました。反面、ショベル等生活関連用品につきましては、近年になかった降雪による除雪用品関係の需要増と一部震災による特需もあって、売上高は7,215百万円(前期6,882百万円)になりました。

利益面につきましては、引き続きコストの低減・諸経費の節減等、全社をあげて損益改善に努力を重ねました結果、営業利益は65百万円(前期2百万円)、経常利益は103百万円(前期35百万円)となる見込みであります。保有株式の時価の下落による投資有価証券評価損79百万円および資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額3百万円を特別損失として計上した結果、23百万円の当期純損失(前期は21百万円の当期純利益)となる見込みであります。

なお、期末配当につきましては前回公表したとおり1株につき2円の配当を予定しております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上